

平成28年度議会報告会記録

年 月 日	平成28年10月28日（金）		
開 会	午後7時00分	閉 会	午後8時45分
場 所	佐治町コミュニティセンター		
参 加 議 員 (8名)	田村 繁巳（副議長） 平野真理子 石田憲太郎 勝田 鮮二 米村 京子 秋山 智博 西村紳一郎 橋尾 泰博		
参 加 者	11名		
報 告 会 の 内 容	1. 議会報告 ①決算審査特別委員会 ②総務企画委員会 ③福祉保健委員会 ④文教経済委員会 ⑤建設水道委員会 ⑥新庁舎建設に関する調査特別委員会 ⑦議会基本条例策定特別委員会 2. 意見交換 テーマ「地域の課題～防災について」		

午後7時00分 開会

（開会）

◆石田憲太郎議員 みなさんこんばんわ。本日はご来場いただきまして、大変にありがとうございます。ただいまより、第3回目となります平成28年度鳥取市議会議会報告会を開会いたします。私は、本日の司会を務めさせていただきます石田憲太郎と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。（拍手あり）本日の報告会でございますが、概ね90分を予定させていただいております。限られた時間ではございますけどどうかよろしくお願ひ申し上げます。

（あいさつ）

◆石田憲太郎議員 それでは、開会にあたりまして鳥取市議会副議長田村繁巳より御挨拶申し上げます。

◆田村繁巳副議長 改めまして、皆様こんばんわ。（「こんばんわ」と呼ぶ声あり）副議長の田村繁巳でございます。

第3回となります議会報告会を開催しましたところ、お仕事等でお疲れのことと思いますが、ご参加いただきまして心より感謝申し上げます。この報告会は、議会の活動を直接市民の皆様にお伝えするため、市内4会場で、全議員が役割分担して開催するものでございます。これまでの報告会では、市議会が身近に感じられ、改めて報告会の必要性を感じたなど期待の声をいただきました。一方で地域の課題解決に向けたテーマにしてはどうかなどのご意見もいただい

ているところでございます。本年度は、地域の課題 防災についてをテーマとして、意見交換の時間を設けております。先週の金曜日には、鳥取県中部を中心とする震度 6 弱の地震が起き、家屋の損壊や余震などの影響により現在も避難所生活をされている方がおられます。鳥取市でも怪我をされた方や青谷町など西部地域で家屋の損壊がありました。被災された方々にお見舞いを申し上げるしだいでございます。

本日は、市政や議会に対して、日頃感じておられることなど忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思います。参加者の皆さんには、最後までお付き合いしていただきますようよろしくお願い申し上げます。

（参加議員の紹介）

◆石田憲太郎議員 それでは、本日参加しております議員を紹介いたします。

まずはじめに、ただ今ご挨拶を申し上げました鳥取市議会副議長田村繁巳議員、続きまして総務企画委員会の橋尾泰博議員、同じく総務企画委員会の西村紳一郎議員、福祉保健委員会の勝田鮮二議員、同じく福祉保健委員会、私石田憲太郎、文教経済委員会米村京子議員、同じく文教経済委員会平野真理子議員でございますが、所用のため遅れて到着の予定となっております。建設水道委員会秋山智博議員です。以上の議員によりまして本日の報告会を進めさせていただきます。

それでは報告会に入ります前に、本日の資料の確認をさせていただきますと思います。議会報告会の次第、鳥取市議会について、本日パワーポイントでご紹介させていただきます資料、議会基本条例策定特別委員会資料、議会広報委員会資料、基本条例と広報委員会につきましてはパワーポイントの資料に差し込んであると思います。市議会だより、昨年の議会報告会での意見に対する回答、議会報告会についての本日のアンケート、以上でございます。ご確認をお願いいたします。

次に、本日の日程について簡単に申し上げますが、まず最初に議会報告としまして、平成 27 年度決算の概要や各常任委員会からの報告を約 40 分程度行い、その後、報告に対する質疑を 20 分程度お受けをいたしまして、そのあと今回初めてでございますけど地域の課題防災についてということテーマとしまして意見交換の時間を約 30 分程度とさせていただきます。

（議会報告）

◆石田憲太郎議員 それでは、これより次第に沿って各担当より議会報告を行います。

－報告の内容は資料「平成 28 年度鳥取市議会議会報告会」を参照－

（質疑応答）

◆石田憲太郎議員 本年度は、議会広報委員会からの報告の時間は設けておりませんが議会の情報を広く皆さまにお届けするために市議会だよりの発行やホームページでの議員の議案に対する賛否、政務活動費の収支報告書の公開、ケーブルテレビやインターネットでの議会中継などを行っています。その内容について資料としてお配りさせていただいておりますのでどうぞご覧いただきたいと思います。議会からの報告としましては以上でございます。それではこれが

ら議会報告に対する質疑応答に入りますが、質疑応答に入る前にお願いいたします。ご質問のあります方は挙手のうえお名前を述べていただきまして質問を行っていただきますようお願いいたします。本報告会では会議録を残すこととなっておりますので市議会ホームページで後日公開させていただきます。また、この場でご回答できない議会に関する質問につきましては、市議会ホームページで後日お答えいたします。

できるだけ多くの皆さまからご意見ご質問をいただきたいと考えておりますので、質問はお1人1回、3分以内にまとめていただきますようお願いいたします。30秒前にはお時間をお知らせするベルを鳴らさせていただきますのでご留意を願います。それでは早速質疑応答に入りたいと思います。

◆**質問者 A** ○○のAです。報告ありがとうございます。はじめて出させてもらって鳥取市議会がいろんな取り組みをされているのがよくわかりました。全体的にいろんなことを申されましたが、緑化推進事業について、保育士が足りない、待機児童がいるとか、先進地を視察されるところすべて中身はわかりますが、本当に私たちが住んでる佐治町において何が必要なのかどうゆう具合に考えられているのかまず佐治町の中を、佐治の支所を佐治のいろんな団体も含めて何をされているのか佐治町がどうなっているのか、山はどうなのか、川はどうなのかダムはどうなのか本当にアストロパークもすべてひっくるめてどのように活かされているのか。佐治の地域の住民がたとえば南地域でも一番佐治町が高齢化率が高い。隣の用瀬、河原と比べてもその中で高齢者を含めて地域の住民が日々どういう生活をされているのか。何を望んでいるのか。どういうことがあった場合にどこに行ったらいいか。本当に今の佐治町、私住んでますけど行く場所がない。1点だけ、平成16年に合併したが、佐治中学校の前に地域活性化センターを17年につくっている。約1億円かけて、それはいろんな取り組みをしますといくことで後で見てもらいますけど全然活かされていない。作った当初に関係者の方が古市の方が使ってもらわな困る。といったような話、本当に目的があってされているのか。最近では中学校の跡地のグラウンドを芝生化をしたんですけど地域の住民のニーズがあってされたのかの緑化推進事業の予算があってしたのか、ゆったらきりがありませんけど。そういうことで常日頃佐治の方に来てどういう状態で皆さんが生活されているか意見があるかということをしよっちゅう来て確認してほしい。以上です。ありがとうございます。

◆**石田憲太郎議員** ありがとうございます。これはご意見ということでよろしいでしょうか。今伺いさせていただきました。今日の議会報告会につきましては、様々報告いただいた中で具体的中身について踏み込んで伺いできない部分がありましたということと佐治町におきまして、地域内にどのように活かされているのかという部分。佐治町のことをどのように理解して地域の問題、課題を掌握されているかというようなことであつたと思います。平成16年の合併後に地域活性化センターがどういう目的でなされているのか活かされていないのではないかとということもご意見として伺ったように思います。芝生化のことにつきましても地元の要望、需要があつてされたものなのかどうか。もっと地域のことを知っていただきたい。というような内容であつたかと思うわけでございますが、これにつきましては、具体的な質問ということで

よろしいでしょうか。

- ◆**質問者 A** 今申し上げたことは、議員の皆さんにもう少し佐治のことを知って現地に出かけていただいて、利活用委員会を 26 年の 12 月に立ち上げて 1 年半ぐらい。支所の支所長を中心として佐治に施設がいっぱいあるんです。利活用委員会に私も委員になって出んですけど。それがどうなっているのか。新庁舎も大変ですが、そこに豪雪センター佐治があるんです、記念ホールが、それから借地がいっぱいある。その辺を解決してもらうように話もしてるんですけど議会の方に届いているか。皆さんご存知か。その辺ほんと私は佐治は大変な状態になっていると思っている。
- ◆**石田憲太郎議員** さまざま地域のご意見として課題としてのご意見をいただいたところですが、これにつきまして議会として田村副議長の方から。
- ◆**田村繁巳副議長** 貴重なご意見ありがとうございます。もっと議会でも佐治のことをよく知っていただきたいというのが。総論的なご意見だと思います。以前は地元にも議員さんがいらっしゃって、いろいろ聞かせて頂いたりしていたのですが、現在議員さんもない中でもっと地域をということで、鳥取市と合併しまして一番人口が減っているのは佐治地域ということは認識しています。中学校も千代南中学校ということで用瀬と佐治が 1 つになって、佐治町の皆さんのご意向でなんとか 1 つにまとめ上げることが出来ました。跡地の利用については、保育園とか芝生化とかまた新たな活用として 9 月議会にもどっかの事業者だったと思うのですが入られるように聞いています。先程の文教経済でも、どぶろくのどんでんがえしですか、すばらしい素材があるということも十分知ってまして、これをもっと PR していかないといけないと思っています。特に空き家がたくさんありましてなかなか空き家が多いわけですけど公共交通、交通アクセスを充実していかないとこの空き家がどんどん増えていくのではないかと認識をしています。特にこのたびの倉吉の中部地震がございました。ここはたくさん急傾斜地、レッドゾーンがありまして、なかなか土砂災害のときに復旧もなかなか進んでいない。結構 1 年ぐらいかかった地域もあります。本当に佐治地域しっかりと我々議会も地域のことを認識して、また議会でも取り上げて執行部に要望、提案をしていきたいと思っています。今後議会に対しまして貴重なご意見をたまわれればありがたいなと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。
- ◆**質問者 B** ○○の B です。このたび 21 日に中部地震がありまして、とっても被害が出ているようですが、鳥取市は被害がほとんどないようなことだと聞いている。議員さんとして議会として近いところの青谷だとか鹿野だとかに出向いて調査をされたのかあるいは鳥取市全体でどんな被害が報告があったのかわかれば教えていただきたい。佐治の奥の方では石塔が倒れたというような話を聞いている。この辺をどう向きに把握しておられるのかお伺いしたい。2 点目は市庁舎の建設ですが、これは紆余曲折があつて現在に至っているのですが議会の中でも新築移転に賛成反対いろいろ奮闘されたところですが、結果的に前を向いて執行部と両輪のごとく庁舎建設に議会も取り組んでおられるということで大変喜ばしいというか建設的なことだと思っている。ただ先程の報告の中にありましたが、経費削減ということがありますが、私は、経費削減ばかりがいいではないと思います。鳥取市の庁舎ではありますが因幡国の庁舎というよ

うな考え方を持って、立派な庁舎を建設していただきたい。3 点目ですが、地域おこしというか地域の活性化について、ご当地キャラといいますかゆるキャラ等が全国でいろいろあると思いますが、県のゆるキャラはトリピー。鳥取市のゆるキャラはなんだろうと思って調べてみましたらありました。議員さんは知っておられるでしょうか。私も調べてみましたら小池ちゃんだということのようです。残念ながらトリピーは佐治にも来ていただいたこともあるし、イベントなんかでよく PR されているが、小池ちゃんは全然見たこともないしつくられているかわかりませんが。こういったものをつくって地域活性化に役立てていただけたらと思います。もうあと 1 点は、鳥取市の木とか花とか鳥とかありますが木はさざんか、花はらっきょうの花、鳥はオオルリがありますが、石が鳥取県では砂丘の砂だということをおっしゃられたそうです。鳥取市も石を決めていただいて佐治川石を 4 番目に持ってきていただきたいと思います。佐治のもんですから佐治川石の良さや文化的なものも十分承知しております。何とぞ鳥取市の石を 4 番目にされる場合は佐治川石をお願いしたいと思います。

◆石田憲太郎議員 ありがとうございます。4 点にわたってお話があったかと思えます。1 点目は中部地震において、鳥取市内たとえば青谷とか西部地域、全体を含めて被害状況等を議会としてどうゆう風な対応をされたのかどうか。もう 1 点が新庁舎の建設にあたりまして。経費削減ばかりがありではない、因幡国全体ということで将来を見据えてしっかりとした庁舎という考え方も必要であるということ。3 点目としまして地域おこし、その活性化という点からゆるキャラについて鳥取市としてはきっちとしたそうゆうゆるキャラが定められてないのではないかと。4 点目として鳥取市の木や花や鳥がありますなかで鳥取の石ということで佐治川石を制定してはどうかという 4 点であったかと思えますが。ありがとうございます。これにつきましては、では最初の中部地震の被害につきまして田村副議長からお願いします。

◆田村繁巳副議長 このたびの災害について、話をさせていただきます。震度 6 弱の中部地震がありました。鳥取の被害といたしましては、家屋で約 90 件の被害が出ております。青谷で 50 気高で 25 鹿野で 15 これらが今のところ把握している損壊している家屋です。人的な部分につきましては 1 名、このように聞いておるところです。中部にどのような応援をしたかというご意見もあったかと思えますが、今、復旧支援で各部署から代表が順番に中部の方に出かけております。それ以前に 10 月 24 日現在では保健業務として湯梨浜町の方に職員 2 名、被災宅地危険判定これも行っております。水道の給水支援にも倉吉の方に給水車 1 名、職員 2 名を配置しております。水道復旧についても、給水車 3 台、職員 3 名また鳥取市の浄水水道事業協同組合から 11 名を出している。消防署の関係ですが救急車 2 台、タンク車 1 台、指揮者 1 台、救助工作車 1 台と全部で職員は 20 名これにかかわっていただけてます。支援物資については 600 食、乾パン 1,024 食などをしているところです。実は今日、倉吉市の議長さんとお会いしました。被害状況を見てまいりました、青谷の辺りも。議場が使えない状況、柱に亀裂が入ってまして、その中に入らないでください。ということで上にあるガラス張りのところも全部ふっとんどりまして今コンパネを張っているという状況でした。本当に庁舎が機能しないと大変な状況になるのだなと改めて感じたところです。

◆石田憲太郎議員 地震の対応につきましては、鳥取市内におきましては特に西部の方が多かつ

たかなと思いますが、それぞれの地域で議員がそれぞれ個別に地域に被害が出てないか対応しておるところでございましてそのあたりご報告をさせていただきます。それでは庁舎の建設につきまして経費節減ということがございましたが、これにつきましては〇〇さまのおっしゃることもよくわかります。経費についても様々議論になってきたところでございます、経費をしっかりと抑えながらどれだけ将来にわたってしっかりとしたものを作り上げていけるか、このバランスのことになっていくと思うわけですが、議会としても特別委員会ですっきりと議論を進めているところでございます。これから実施設計等に入っていく中でそのあたりのことも視点をしっかりと踏まえながら安かろう悪かろうというわけにはならないと思いますのでそのあたり議論を進めて行く中でなんとかそういうものが実現できるような方向で議会としても進めていきたいと考えているところでございます。地域おこし、地域活性化のためのゆるキャラについては、個人的には必要かなと思いますが、それにつきましても、しっかりと議会としてここでお伺いさせていただきましたので検討させていただき前向きな形となるよう議会として取り組んでいきたいと思っておりますので課題と言いますかご要望として持ち帰らせていただきたいと思っております。最後の鳥取の石として佐治川石をとということでございましたが、今ここでご回答できる状況ではございませんのでこれにつきましても今お伺いしたご意見をふまえて議論をさせていただきたいと思っております。

- ◆**質問者 C** 〇〇の C です。今日の報告にありました、橋尾議員さんの言われたマイナンバーは社会保障税番号というふうにお年寄りの方にはマイナンバーではわかりにくので社会保障税番号として訳してもいいのかなどうか。資料の中にありましたのでそれでもいいのかなどうか。西村議員さんの言われたコンビニで公的証明書をもらうのにマイナンバーカードがいるとのことでしたが、以前ありました住基カードではできないのかなどうか。勝田議員さんの言われた公立私立併せて保育士さんの無資格者は現在何人おられるのかわかれば教えてください。
- ◆**石田憲太郎議員** ありがとうございます。2点についてご質問いただきました。マイナンバーについて、では橋尾議員の方から答えさせていただきます。
- ◆**橋尾泰博議員** マイナンバーカードでございますけど、住基カードと比較されたのですがこのマイナンバーカードというのは住基カードが従来ありましたけどそれとは別のものになります。マイナンバーカードは日本の全国民にそれぞれ個人の番号を割りふっております。
- ◆**質問者 C** 社会保障税番号という訳でいいのかという確認です。
- ◆**橋尾泰博議員** 基本的にはこれで結構です。ただマイナンバーカード、これから行政サービスがどんどん増えてきますからできましたら皆さんに申請していただきたいというのが、我々議会の思いでございます。国の方としてはだいたい普及率をはっきりは申しませんが、当初言っておりましたのが国民の皆様の3分の2の方に申請をしていただきたいというのが国の本音でございます。
- ◆**石田憲太郎議員** もう1点が保育の無資格者が何人ということですが。勝田議員の方から
- ◆**勝田鮮二議員** これはまだそういう人はいないと把握していますが、持ち帰って確認させていただきます。
- ◆**石田憲太郎議員** この件につきましても、持ち帰り、後日回答させていただくということで。

- ◆質問者 C コンビニでは住基カードは使えないのですね。
- ◆石田憲太郎議員 住基カードは使えません。
- ◆石田憲太郎議員 議会報告に対する質疑は以上ということでしょうか。
- ◆質問者 A 新庁舎の建設に使うお金は合併特例債を使うということですか。
- ◆石田憲太郎議員 当初の予定どおり合併特例債を使用してということでございます。
- ◆質問者 A 平成 25 年に国の方から老朽化の公共施設等の統廃合の後押しということで 1 千億円かなんぼか国の方が出している。これは鳥取市は利用されているか。公共施設等統廃合の後押しということで総務省が予算を 1 千億円以上計上している。たとえば佐治には豪雪センターがありますよね。あれも全然使ってない。地代を払っているがそういうのを取り壊したり再利用するようなこともそういうお金が使えるのか合併特例債が使えるのか。佐治にもいっぱいあるんで。これちょっと新聞の切り抜きで私も細かいことはわかりませんが、これも使えるのではないか。
- ◆橋尾泰博議員 私も把握しておりません。今鳥取市の方がファシリティマネージメントで公共施設のあり方というかこれから廃止、民間移譲、統合を進めていくということで今 40 年計画をつくっております。これは建物もそうですし道路、上下水道、公園いろんなものがあるのですがこれを再整備をしなければならんということで建物でも建てて 50 年 60 年たてばまた作り直していけないといけない。鳥取市が公共施設と言われる部分でインフラを含めて今の規模で再整備をするということになると 1 兆円を超えます。これは 50 年で割っても年間 200 億はいるという話です。大変な事業がこれからあるわけです。10 年単位で第 1 期計画、第 2 期計画という形でこれが一遍に全部が古くなるわけではないので古くなったものから整理をしていこうと検討を重ねています。具体的なテーマが出てくればたとえば今おっしゃた公共施設の利活用の問題が出てくれば鳥取市の方から地元の皆さんにご説明申し上げまして、この施設はどうしましょう廃止しましょうか統合しましょうか民間の皆さんに運営をお願いしましょうかという話になってきますので、具体的な問題は地区の問題となりますのでその時には皆さんのご意見をたまわるといようなことになっております。
- ◆質問者 A 政府の方も公共施設のスリム化そういうことに使うということのようです。詳しくはわかりませんが。今言われたことのようにです。
- ◆石田憲太郎議員 時間もございますので議会報告に対する質問につきまして以上で終わらせていただきます。
- ◆石田憲太郎議員 意見交換を行わせていただきます。今回は、各会場で共通のテーマとしまして、地域の課題防災についてをテーマとさせていただきました。こちらの方を優先的に伺いまして、もしないようでしたらそれ以外のことでもお受けさせていただきます。では地域防災に関することについてご意見等ございます方は。
- ◆質問者 C 防災の備蓄品どこにいくらあるのかホームページで情報開示をお願いしたい。今現在、どこに誰に連絡したら援助が、必要なものが手に入るのかが知りたい。また、ダムが夜中、台風なんかで雨量が多かった時に放水されます。サイレン鳴らして、外側のスピーカーで放送はされているが、サイレンは聞こえるかなあという程度、放送は雨が降ったときはほとんど聞

き取れない。聞き取れない場合は総合支所に電話して教えてもらえるが宿直の方にご足労をかけている。外で放送したということで県は地域の人に周知したと認識していると思う。住んでいる我々は聞き取れないという現状がある。夜中に増水してどこまで水が増えてくるのか。ちょっと不安なことがあるので、きちんと情報が伝わるように検討してほしい。

◆石田憲太郎議員 ありがとうございます。備蓄品ですね。何がどこにいくらあるのか。これにつままして市の方として管理している。町内会とかでもところによってはそれぞれ備蓄品とかされているところがあるかもしれませんが、そこまでは把握は難しいのかもしれませんが、支所とかそのあたりということでよろしいでしょうか。

◆質問者 C 市民が情報を手に入れられるような状態にして欲しい。佐治だけではなく、市内全体として。

◆橋尾泰博議員 鳥取市の方で備蓄品を置いているのが、小学校、地区の公民館、総合支所にもおいています。福祉施設の方にもお願いして、福祉施設も避難場所になりますので、おかせてもらっている。この小学校に毛布が何枚置いてあるのか紙おむつが何枚あるのか水が何本おいてあるのかわかるようにしてほしいということですか。

◆質問者 C 更新をして使える状態で管理されているのか。

◆橋尾泰博議員 それは当然使える状態にしています。備蓄の食糧にしても、年限があります。年限が来る前に 1 年 1 回、9 月の 10 日に防災訓練やりますけれど、そういう時に非常食として食べていただいたりとか、鳥取に留学してこられた留学生の方に支給したりとかしている。今回も中部地震がありましたよね。そのときでもやはりブルーシートだとか米とかはすぐ持って行きました。熊本の地震の時もそうです。どこの地方自治体でもストックしていますので、何か大きな災害があったら、すぐ救援物資として送る。送って持って行ったらすぐ補給をするというような体制をとっている。

◆質問者 C それぞれの地域の赤十字地域奉仕団の方が情報を知っておられないから、皆が周知できるようにホームページなどで情報開示していただいたら助かるなと思ったところです。

◆石田憲太郎議員 ありがとうございます。大変大切なお話だと思いますのでしっかりと対処できるようにまいりたいと考えています。もう 1 点ダムの放水等の防災無線によりますサイレンが聞きとりにくい。これはここに限らず全市域サイレンが屋内で窓締めきっていると聞き取りにくい外にいても聞こえにくいというのは事実でございます。議会としましても常々防災無線の聞き取りにくさは課題としておりまして、これからもその解決策をしっかりと研究し、議会としても取り組んでいきたいと思っております。

◆質問者 B 佐治町の中の防災無線はそれぞれに 1 件 1 件ついてます。ダムの放送がいけないということ。

◆石田憲太郎議員 わかりました。地域に特化した課題ということでございますので、現状を把握させていただきまして、解決策がないかどうか研究をし、それをまたあげていきたいと思っております。

◆質問者 A 佐治川ダムが 40 何年たっているがダムの中に土砂がいっぱいたまっていてそれを取るにはものすごくお金がかかる。土砂の捨て場がないということで利活用の委員会で行って

みたんですけど、それと鳥取市なのか県なのか市なのかダムが過激派かなんかで崩壊された決壊したと。計画をしてダムの下にある 2 つの集落が佐治小学校まで避難したと。こういう訓練をする場合に佐治には自警団という組織があるんですけど自警団長には説明をしたんですけど佐治村にある自警団は夜間やる消防訓練を昼間にしたんです。どういうことをするのかと聞いたらものすごい大規模な訓練をしたみたいなんですけど、そういう時には佐治のダムが決壊したら全体に関係があるので区長だとか各集落の関係者の人もそういう訓練に参加するようにしたら全体に広がって常日頃から危機意識を持ってこういう場合はこうだぞというのができる。ダムの下流の 2 つの村も大事なんだけどそこだけでなく全体に声掛けをする、県がされたのか市がされたのかどこがされたのか分かりませんが、こういうことを広報して本当にダムが大丈夫なのかどうか。議会の方で機会がありましたら、視察をしていただいてどうなっているんだということをお願いしたい。

◆石田憲太郎議員 土砂の浚渫云々、自警団への地域全体への広報等しっかり聞かせていただいたので取り組んでいきたいと思います。

◆質問者 D 防災関連につきまして、佐治地区はNHKの第 1 放送が非常に聞きにくい。それで NHKに出たんです。何とかならないかと。そうしましたら、行政の支援があればたとえば若桜町はアンテナをつくるのに若桜町がお金を出してアンテナをつくって良くなったとか。この間ラジオを聞いてましたらよその県で FM 放送に NHK の第 1 放送を載せて放送ができるということができるような事を耳にしたんです。鳥取市は佐治だけでなく、ラジオの NHK 第 1 放送が聞きにくいことがたくさんあると思う。その辺のところを行政にお願いするのかわかりませんが、防災関連で研究してみたい。

◆石田憲太郎議員 非常に大事な課題視点かと思えます。若桜町の事例も上げてアンテナを立てて、何とか対応ができないものかどうかということでした。

◆田村繁巳副議長 ラジオの放送が入りにくいというのは知っている。どの機会でも執行部には思っているのですが、若桜町では鉄塔を立てて電波がとどく、ここは集落によっては入らない。防災の部分についてしっかりとそのあたりのことは整理しないといけないと認識だけはしている。どういう計画で今後やっていくのかは今後の検討だろうと思っている。今日の要望をしっかりと承って今後実現できるように取り組んでいきます。

◆質問者 D ラジオは外から聞きながら仕事しながら生活ができる。

◆石田憲太郎議員 貴重なご意見でございました。平時におきましても情報は必要不可欠でありますし、災害時にはなおさら必要な情報源ですので、そのあたりもしっかりと今伺いましたご意見を活かしていきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。最後のお一人ということでしめさせていただきますと思います。

◆質問者 E E です。美術館のことについていろいろやっておられるようです。これはまあ、市でなくて県ですけど県会の方がアンケートの中身で、どこにするかというアンケートはいけないといわれたと。美術館の建設のアンケートの中にどこにというところが削除されたと聞いています。鳥取市の議会はどんな取り組みを考えておられますか。

◆石田憲太郎議員 県の方では場所についてのアンケートは削除されたと聞いている。市はどの

ように考えているかということですが。

◆橋尾泰博議員 県の美術館これは県の事業、よくご存じだと思います。この問題についても基本的な計画というのが本来どんな美術館にどんな機能を持たせるのかということをやや喧々諤々やらないんですけど場所ありきで、鳥取市も 5 か所申請して現在候補地として 2 か所残ってま
す。中部が 2 か所残ってます。4 つまで絞り込まれた。どこに建てる場所を表に出すよりは、
もっと基本的な美術館の機能をどうゆう美術館にするのかどうゆう絵を中心とした美術館に
するのかもっと基本的な機能その一番大切な部分が議論されてないということで、場所はもう
ちょっと別にしようということになっています。今出しているのが、本庁舎がたっている場所、
湖山池のところ、中部は前の免許センターのあと、倉吉のラクビー場の 4 箇所が今残ってます。
来年の 2 月には美術館の予算が付くという話ですから設計なんかの今年の年末か年明けには最
最終的には平井知事の判断で候補地が決まるということで、議会に提案されると思っている。鳥
取市としても、先月だったのかな深澤市長と 4 つの町の町長さんが知事の方に鳥取の方に美術
館を誘致してくださいと陳情、要望には上がっています。今のところはそういうところです。

◆石田憲太郎議員 時間の方も参りましたので、まだまだご意見等あったかと思いますが、こ
こで締め切らせていただきたいと思います。それでは以上をもちまして平成 28 年度鳥取市議会議
会報告会を終了させていただきます。最後までお付き合いいただきましてありがとうございました（拍手）

なおお配りしておりますアンケートにご記入いただきましてお帰りの際に受付にお渡しいた
だければと思います。よろしく願いいたします。最後まで無事故でお気をつけてお帰りくだ
さい。ありがとうございました。

午後 8 時 45 分 閉会